

# 令和5年度 福井県立金津高等学校 学校関係者評価書

## 議題

- ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。
- ・成果と課題を踏まえた今後の改善策、向上策が適切かどうか。
- ・その他

## 御意見を伺った方々

学校関係者評価委員会：あわら市教育長（本校育成会代表）、芦原中学校長、金津中学校長  
地域住民代表、同窓会長、PTA会長、PTA副会長

## 御意見

### ◇教育課程・学習支援

#### ○「学習への主体的な取り組み」についての1, 2年生の保護者の評価が目標指数を下回っていることについて

・教職員の指導力の向上、学習アプリ（Classi）などで学習への取組を向上させる。Classiは全員共通の課題を出したり、学力に応じて個別に最適化された学習をしたり多様な学び方を支援することができる。さらに効果的な活用法を探っていく。

#### ○放課後活用について

・1, 2年生は週3時間、生徒の主体的な活動や教員による工夫を凝らした活動を行っており、充実した時間を過ごしたという回答が多く出ている。生徒が主体的に目標設定できるよう、さらに働きかけていき、次年度も7時間目を有意義に過ごせるようにしていく。来年度は3学年とも32単位となるが、面接週間を設けたり、大会前は部活動を強化する期間として6限で終了したりするなど、時期に合わせた弾力的な運用をしていく。

### ◇生徒支援

#### ○挨拶や身だしなみ

・その場に応じた気持ちの良い挨拶ができている。服装頭髪については現在多様化が進んでおり、迷いながら進めている。

#### ○特別活動

・コロナが明け正常化に戻りつつある中、学校行事を一層充実させるリーダーの育成を目指している。同時に集団になじめない生徒へのきめ細やかな支援もしていく。

#### ○部活動

・部活動は強制入部ではないが、掛け持ちで所属している生徒もいるため、加入率は103%と大変高い。

#### ○いじめ

・いじめに関する評価は100%の結果を得られているが、担任による面談・心のチェックシートなどにより、今後も気を緩めず対処する。

### ◇進路支援

#### ○進路行事

・進路行事については、今年はすべての回答者において目標達成することができた。今年は学習支援アプリを切り替えたばかりでまだ研究の余地がある。模試との連携を強めていく。

#### ○進路情報

・進路情報の共有について、目標を達成することができた。よりタイムリーなものとなるよう情報を精選したい。

◇中高一貫教育

○連携行事

・時間や場所の制約がある中で3校が連携し、各校のよさを実感することができた。

○連携授業

・数英のティームティーチングについて、楽しく取り組めているものの学習内容が難しいとの回答があった。興味関心を持たせながら知識の定着を目指していく。

◇保健管理

○健康管理

・2年生が目標の90%より低かった。保健だよりや保健ニュースで折に触れて啓発していく。

○気がかりな生徒対応

・教職員は100%対応できているとの結果が出ているが、引き続き外部と連携を取りながら進めていく。

◇開かれた学校づくり

○広報

・引き続きHPなどを通じて広報していく

◇読書支援

○図書整備

・生徒結果は昨年度より向上したが目標には届いていない。探究関連など生徒のニーズに即した本を揃えていく。  
・朝読書の意義を理解させ、学級文庫の充実を図る。

◇授業改善

○探究支援

・今年度探究活動の在り方を見直したがまだ改善の余地がある。学年間の連携を強化することにより、生徒が一層積極的に取り組むことができるよう支援体制を整える。

○授業改善

・ICTの活用場面を増やし生徒の自走を支援していく。より高度なデータ分析も含めて支援の幅を広げたい。

◇その他

○「『悩みがあるときに気軽に相談できる人がいるか』との問いに『いる』88%は良好だが、『いない』の77名というのはい多い。」の感想に対して

(保護者)「親としても難しいところである。子供が悩んでいるように思っても踏み込みに躊躇しがちである。親も子供も悩んでいる。」

○「コロナ禍から脱した後の子供たちの様子は ねばりや元気がないか コミュニケーションがとれないか」との問いに対して

(学校) 学校祭や部活動の大会の様子を見てみると、楽しそうに活動している。特にコロナ世代とは感じない。

(委員) 中学校では給食を友達と食べることに抵抗感を示す生徒がいるという。マスクを外せない生徒も。

◇全体（総括）

○学校評価書の成果と課題およびそれらを踏まえた今後の改善策、向上策は概ね適切である。

◇学校関係者評価を踏まえた今後について

・今年度の学校評価の結果および学校関係者評価に基づき今後の課題について改善・工夫を行い、次年度のスクールプラン、教育方針・教育目標に活かしていく。